

CASBEE[®]-不動産【集合住宅】評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-不動産【集合住宅】(2021年SDGs対応版) v1.2.2

建物概要					
建物名称	CAVANA九条烏丸	敷地面積	1,638 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	京都府京都市	建築面積	770 m ²	評価の実施日	2024年10月4日
用途地域	第二種住居地域、近隣商業地域、準防火地域	延床面積	4,425 m ²	作成者	米田 拓朗
建物用途	共同住宅	階数	地上7F	不動産評価員番号	ふ-001471-29
竣工年月	2021年10月12日	構造	RC造	確認日	2024年10月18日
直近の大規模改修実施年月	—	平均居住人員	125 人	確認者	米田 拓朗
		年間使用時間	8,760 時間/年	不動産評価員番号	ふ-001471-29

評価結果					
73.9 /100	合計	★★★★★	S ランク:★★★★★	≧	78
(得点 / 満点)			A ランク:★★★★	≧	66
			B+ランク:★★★	≧	60
			B ランク:★★	≧	50
ポイントは小数点第1位までの表示とする					

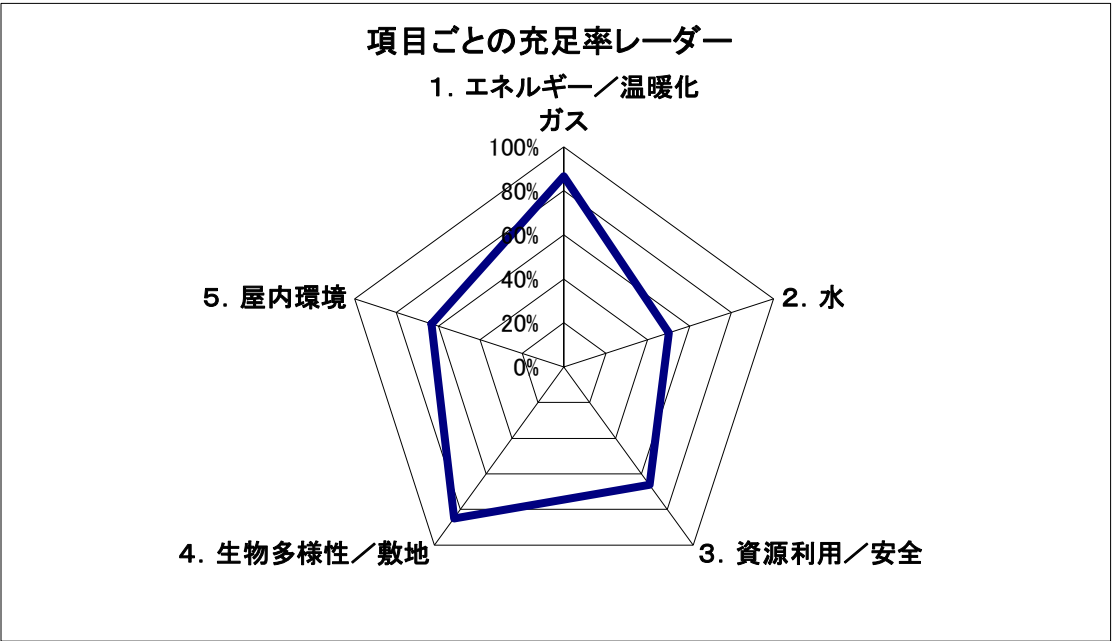
1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点	必須項目	指標	(*)は参考値	評価値
適合		根拠等:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制	一次エネルギー(目標値)		239 MJ/m ² ・年
15.0	20 / 15 / -	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)		241.1 MJ/m ² ・年
		根拠等:実績値より	二次エネルギー(*)		24.7 kWh/m ² ・年
			CO ₂ 排出量(*)		11.8 kg-CO ₂ /m ² ・年
5.0	5 / 5 / 20	1.2 使用・排出原単位(実績値)	一次エネルギー(実績値)		241.1 MJ/m ² ・年
		根拠等:エネルギー消費量実績値一覧参照	二次エネルギー(*)		24.7 kWh/m ² ・年
			CO ₂ 排出量(*)		11.8 kg-CO ₂ /m ² ・年
3.0	- / 5 / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	導入された対策項目数		3.0 項目
		根拠等:2)、3)、6)			
3.0	5	1.4 自然エネルギー	利用率		%
		根拠等:			
26.0	30	合計			

2. 水					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		根拠等:目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)		6,650.6 L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)		L/m ² ・年
4.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)	水使用量(実績値)		6,717.8 L/m ² ・年
		根拠等:1)～3)			
1.0	5	2.3 水使用量(実績値)			
		根拠等:水使用量実績値一覧参照			
5.0	10	合計			

3. 資源利用／安全					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		根拠等:新耐震基準への適合またはIs値、If値	なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
3.0		3.1.1 耐震性			
		根拠等:建築基準法に定められた耐震性を有する			
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能			
		根拠等:導入していない			
4.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する		
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する		
3.0		① 躯体材料	使用していない		
5.0		② 非構造材料	リサイクル材を使用している		
4.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	リサイクル材品目数(非構造材)		3 品目
	加点 1	根拠等:1)、2)、3)、6)	取組数		4 ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
		根拠等:	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均		
3.2	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー			
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値		19 年
		根拠等:計算式参照			
2.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	自給率向上の取組数		1 項目
		根拠等:4)			
3.0		3.4.3 維持管理	維持管理に関する取組数		6 ポイント
		根拠等:1)、3)			
4.0		3.4.4 バリアフリー対策			
		根拠等:建築物移動等円滑化基準を満たしている			
13.2	20	合計			

4. 生物多様性／敷地					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		根拠等:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし		
8.0	10	4.1 生物多様性の向上	②取組表による場合のポイント数		2 ポイント
		根拠等:1)、3)			
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生			
		根拠等:土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない			
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性			
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	鉄道駅またはバス停からの距離		8 分圏内
		根拠等:九条駅 徒歩4分			
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮			
4.0	5	4.4 自然災害リスク対策	リスクの合計数		1 種類
		根拠等:該当リスクが1種で有効な防災対策を行っていない			
17.0	20	合計			

5. 屋内環境					
評価	最大加点	必須項目	指標		評価値
適合		根拠等:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合	なし		
		質問票への適合			
1.6	3	5.1 自然利用			
1.0		5.1.1 屋光利用	5.1.1.1の点数×2/3＋5.1.1.2の点数×1/3		
		5.1.1.1 自然採光	開口率		21.8 %
		根拠等:計算式参照			
3.0		5.1.1.2 屋光利用設備	屋光利用設備		1 種類
		根拠等:屋光利用設備がある			
1.0	3	5.1.2 通風・排熱			
		根拠等:居室に自然換気開口がある			
1.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	天井高		m以上
		根拠等:レベル2を満たさない			
2.0	2	5.2 健康・快適			
		5.2.1 暑さ・寒さ			
		根拠等:外壁断熱、カーテンレール、複層ガラスを設置している			
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房			
		根拠等:居室に冷暖房装置を実装している			
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気			
		根拠等:化学汚染物質を抑える建材を使用している			
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音			
		根拠等:レベル2を満たさない			
2.0	3	5.3 防犯対策			
		根拠等:エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ			
12.6	20	合計			



環境性能の特徴

- ・エネルギー使用量の計算値/実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準を満たしている。
- ・生物多様性向上への配慮がなされている。
- ・徒歩8分圏内に交通公共機関があり利便性が高い。
- ・自然災害リスクが少ない。
- ・廃棄物処理負荷抑制対策、維持管理が適切に行われており、屋内環境も比較的良好である。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄